




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		B-3-No. 3		調査位置		広島県安芸郡熊野町初神地内（三谷川激特堰堤）					北緯		34° 21′ 59.5513″									
発注機関		広島県西部建設事務所					調査期間		2021年 6月 28日 ～ 2021年 6月 29日					東経		132° 35′ 24.7475″						
調査業者名				主任技師				現場代理人		コ ン 定 者		ボーリング責任者										
孔口標高		T. P. 289.13m		角				方位				地盤勾配				使用機種		東邦地下工業 D1-C48				
総削孔長		6.00m		度		0°		鉛直		90°		0°		エンジン		ヤンマー NFD-12		ポンプ		東邦地下工機 BG 3C		

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度－N値図		N	深	100mmごとの打撃回数						打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
(m)	(m)	(m)										値		(m)										
1	287.33	1.80		礫混じり砂		灰	rd2		新生代第四紀	粒径はφ30mm程度以下が主体をなす。大径のものは長径またはコア長で7～8cmのクサビ形状で採取される。砂分は中粗砂が主体である。試験の含水は高い。孔内水位は掘削終了翌日の観測値である。	06.30 1.16		5	1.16	1	2	2	5				6	28	
2	286.63	2.50		玉石混じり砂		褐	rd3		新生代第四紀	玉石分はコア長20cmで採取。マトリクスは粗砂～細礫。顕著に褐色を呈し、土位との色調変化が明瞭である。			22	2.15	7	7	8	22						
3	285.53	3.60		強風化花崗岩		淡褐白灰			中生代白亜紀	花崗岩の強風化部（軟岩I）。堆積層との境は少し不明瞭である。水平に接しているように見える。固結短柱状コアを呈するが、ひび割れが非常に多く、軽い打撃でばらばらになりやすい。IH級。			136	3.11	43	7	10	50	110					
4				強風化花崗岩		白灰			中生代白亜紀	花崗岩の風化部（軟岩I）。所々で20cmほどのコアを介在するが、全体としては10cm以下のものが大勢を占めている。4m付近まではやや強く岩化し、それ以降の岩片はやや新鮮である。ただし、少し脆い印象があって、岩片硬質なものではない。割れ目は低角のものが多く、鋭さに欠け、少しの砂片化を伴っている。CH級。			1500	4.00	10		50	10						
5														6.00	貫入不能		50	0						
6	283.13	6.00												6.00	貫入不能		50	0						
7																								